

## 米山奨学生紹介

### 「幼児教育を発展させるために」

2022-23年度米山奨学生

グエン ティ ビック チン

札幌国際大学・札幌RC

初めまして！ 私は札幌RC米山奨学生NGUYEN(グエン)THI(ティ) BICH(ビック) TRINH(チン) と申します。

ベトナムの中部にあるダナン市から来ました。現在は札幌国際大学人文学部心理学科子ども心理専攻4年生です。

日本に留学をしたいと考えたのは、中学生時代に日本の文化交流会に参加した時、日本人のやさしさや誠実さ、正直さ、マナーの良さなどの人間性に魅力を感じ、日本のことをもっと深く知りたいと思ったことがきっかけです。その後日本人の保育者との出

会いで日本の幼児教育の話がたくさん聞かせてもらいました。このことがきっかけで、私は母国の子どもが誰でも日本のような良い教育を受けられるようになったらいいなと考えました。そのような夢を抱いて高校を卒業してからすぐに来日しました。最初、日本語があまり話せなくて一人暮らしはとても困りましたが、周りの援助のおかげで飲食店でのアルバイトを通して日本語もできるようになり、生活にも慣れてきました。

大学で子どもの発達を学ぶ中で、人間関係を築くためには社会性の発達が必要で、そのためにはアタッチメントや安心感を獲得することが重要であるということを知りました。さらに、自閉症児などの障害児と健常児が、ともに楽しい時間を過ごしてもらえるようにピアノを学び、また音楽を身体で表現する練習もしています。音楽を通して、子ども同士で表現を共有したり、そこから新しいアイデアを生み出したりすることでコミュニケーションを図ることができます。

そのような学んだ知識が実際にどのように役立つのか、保育園、施設と幼稚園で実習を行ないました。2週間の実習もあるし1ヶ月の実習もあって、長い期間子どもの姿を観察すること以外に、保育者の役割や園の運営についても研修できて、一層深く理解することができました。実習に行った結果から母国との教育の違いがたくさんあると分かりましたが、やはり専門知識の他に良い園を運営するためには、ビジネスを理解することも必要ではないかと考えています。大学を卒業するまでに、認定心理士、保育士、幼稚園免許一種を取得する予定です。

教育の知識以外にビジネスの知識を学ぶために、卒業後は日本で数年間就職してからベトナムに帰国し、ベトナムの幼児教育に日本の障害児保育の姿勢を取り入れ、子どもに応じた保育の提供だけでなく、保育者として保護者にその子どもにとって必要な支援を提供したいと考えています。また、日本の良い幼児教育の文化を保護者に伝え広め、子どもの心の支援もできるように励みたいです。日本で得た知識と実践経験を生かして母国の教育力を高め、幼児教育を発展させることが私の卒業後の将来計画です。

その夢を叶えるために大学での勉強だけではなく、カウンセラーをはじめロータリーの様々な職業の方から経験を聞いて学ぶことは、私の将来の財産になると思います。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

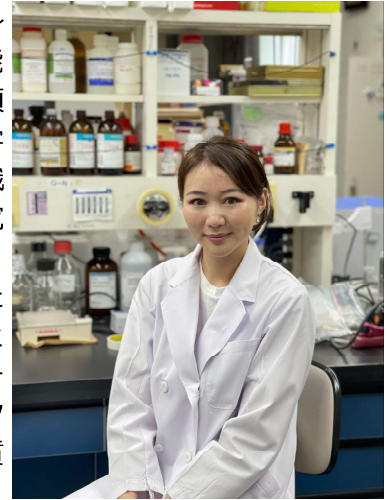


2022-23年度米山奨学生

## 「小児歯科の専門家に」

テムベレルドルジ ポロルツェツェグ  
北海道医療大学・札幌西RC

私はテムベレルドルジ ポロルツェツェグと申します。モンゴル出身です。私は現在、北海道医療大学の大学院歯学研究科で口腔構造・機能発育学系の小児歯科学を学んでいます。この分野では、口腔疾患の種類やその治療法と基礎的な幅広い研究について多くを学んでいます。大学院生としての最初の2年間では、研究を行うための基本的な技術と知識を研究指導員の先生や他の講座の先生方から学んで来ました。私の研究の内容は、歯胚発生時のマラッセ上皮遺残細胞培養上清の細胞外マトリックスタンパク質の影響についてです。具体的には、虫歯などで欠損したエナメル質は一度欠如してしまうと再生することはないことから、歯と同じ成分のハイドロキシアパタイトを用いることが理想であります。そのため、マラッセ上皮遺残細胞培養上清の細胞外マトリックスタンパク質によって、歯のハイドロキシアパタイトの石灰化あるいはエナメル質の再生が可能となる研究になると期待しています。



私は2014年にモンゴル国立医科学大学の歯学部を卒業しました。卒業した後、大学教授のPurevjav先生のプライベートデンタルクリニックで歯科医師として働きました。その後、知識と経験を積むため、モンゴル中央県医療センター病院で一年間診療していました。学生時代には、さまざまな学術的、学問的な活動に積極的に取り組みました。学術的な分野では、私は2014年にはモンゴル国立医科学大学で歯学部の最優秀卒業生となり、表彰されました。

私が日本へ来てから三年が経ちました。留学生としての日本での生活は毎日楽しく健康的に勉学に励んでいます。寂しい時もありますが、とても幸せを感じる日もあります。留学を通して日本の文化、伝統を体験することは、勉強と同じように重要であると思います。日本は豊かで安全で綺麗で、清潔な国だと思いますし、日本は、社会の制度、健康保険の制度や、交通の便、あとは電気技術が優れています。日本人は親切でやさしいです。私は日本人の友達と留学生の友達を多数作りました。日本人はいったん友人になれば、一生の友人になれるということを実感しました。



私は貴財団からの奨学金が給付されていますので、父に援助を求めずに済むので、大変助かっています。また、貴財団の奨学金は、私の研究費にも使わせていただいています。このように、奨学金を提供してくださる貴財団に感謝します。

日本は世界の中でも教育の質が非常に高い国の一つであり、特に歯学の分野では優れています。モンゴルでは、小児歯科学分野の歯科医師や教員の数がまだまだ少ないので、私はこの分野の専門家になり、将来、モンゴルを先進国に発展させたいと思っています。